

## 道徳参観日 5年「命をかけて命を守る—山岳警備隊—」

11月5日（水）に道徳参観日がありました。ご多用の中、ご参加いただきありがとうございました。

授業では、『命をかけて命を守る—山岳警備隊—』という資料を読み、命についての学習をしました。この資料は、山岳警備隊の方が体験されたとても危険な救助をした際のことが書かれています。八十メートルもの崖下に降り、落下してしまった女子学生を背負って仲間がいるところまで引き上げてもらう中で、自分の命も危険な中、「絶対に助ける！」という強い意志をもって大怪我を負った女子学生を励ましながら何時間もかけて救助する様子が描かれたお話を読みながら、「命」について様々なことを考えることができました。

命というものは、たくさんの人たちに支えられ、多くのつながりの中にあるかけがえのないものです。このお話を通して、そのようなかけがえのない命を守っている人々の思いを理解し、自分自身の命を大切にしながら、周囲の人と支え合って生きようとする気持ちをもてるように授業を進めました。

授業の中では、命を救う仕事をする人も不安な気持ちがあることや、命を救うことの難しさや葛藤に触れた上で、「どのような思いをもって自分の命をかけてまで命を守るのか」について考えました。子どもたちは、このような考えを書いていました。

どのような思いから自分の命をかけてまで女子学生の命を守ろうとしているのでしょうか。

- ・自分の仕事にほこりと責任をもっているから、強い気持ちで助けようとしている。
- ・命を救うために25年間厳しい訓練をしてきたから。
- ・自分が生きてきた中にもたくさんの幸せがあったから、女子学生にもその幸せを味わわせてあげたいと思っている。
- ・この子の命を助けることで次につながる命もあるはずだから。
- ・女子学生には未来がある。その未来を守りたいと思った。

子どもたちは今回の授業を通して、資料についてだけではなく、自分たちの生活で「命を守る」場面についても考えることができました。お家の方が大切にして育ってくれている命、見守り隊の方が安全に登下校できるよう毎朝通学路に立ってくださって守ってもらっている命。たった1つしかない大切な「命」を守るために自分たちにできることは、周りの人を大切にすること、安全に登下校すること、言葉遣いに気を付けることといったことがあげられました。今日の授業で考えたことを日々の生活のふとした場面で思い出してくれるとよいと思います。

